

# まちの話題

特集  
タウンピックス



## ワラワラ市スタディツアー (3月20日~29日)

国際姉妹都市の米国・ワシントン州ワラワラ市へ高校生8人が、10日間の短期交換留学に出発しました。高校生たちはホームステイをしながら、姉妹都市提携50周年を記念に建立されたデカンショ像の除幕式への参加をはじめ、小学生や高校生との交流、史跡・博物館見学など、異なる文化と生活習慣を体験し、交流を深めました。

## 自然環境を学ぶツアー (3月17日・18日)



市の自然環境や保全活動について学ぶ「美しい農村を未来へつなぐツアー」に、武庫川女子大学の学生10人が参加しました。篠山城跡南堀でハス復活の取り組みについて学び、両生類や魚類などの調査を実施。豊かな自然に触れ、保全活動の大切さを体感しました。

## グラウンド照明施設が完成 (3月14日)



幅広い世代が夜間も施設利用ができる環境を整えるため、四季の森運動公園グラウンドにLED照明を整備しました。完成を記念し、衆議員議員の谷公一さんと市内の少年野球団やソフトボールチームの子どもたちがファーストピッチセレモニーを行い、完成を祝いました。

## 桜を未来へつなぐ「丹波篠山桜フォーラム」(3月15日)



「丹波篠山市桜ビジョン」がめざす将来像のひとつ「桜を見守る人材があふれ活躍するまち」の実現に向けて開催された丹波篠山桜フォーラム。樹木医の藤原隆之さんによる講演やパネルディスカッション、桜盆栽や写真の展示、スイーツの振る舞いが行われました。

講演の中で藤原さんは「一本一本の桜の『いのち』に寄り添い、その場所に合った『しくみ』を考えることが大切」と話され、どのように桜を守り次世代に引き継いでいくかを考える貴重な機会となりました。

HOTとく

情報ピックアップ

市政リーダー

インフォメーション

おでかけ相談

はぐくみ

街かどリポート

栄光輝く

まちの話題



# 栄光輝く

長年の功績や日々の努力を实らせ、  
栄光に輝いた皆さんをご紹介します

## 兵庫県くすのき賞

ボランティア活動などを通じて、人間連帯の輪を広げ、こころ豊かな地域社会または職域づくりに貢献した団体などに送る賞(昭和47年創設)



稲川茂樹さん(左)、奥村功さん

## 北沢田自治会 稲川茂樹会長

春に「水仙まつり」、夏には「納涼大会」、年間を通して「ふれあい・いきいきサロン」を実施している北沢田自治会。地域のつながりが希薄になる中、住民同士の親睦を深めようと、農道や県道沿いに水仙を植樹。3月には「水仙まつり」を開催し、交流を深められています。また、「ふれあい・いきいきサロン」では、約30人が参加し、カラオケを楽しんだり、健康教室で学んだりしているほか、8月にはゆかりのある人を招いた納涼大会も開催されています。自治会長の稲川茂樹さんと副自治

会長の奥村功さんは、「名誉ある賞をいただきとても光栄です。今後も元気のある村づくりにがんばりたい」と話されました。

## 要約筆記うりぼう篠山 倉橋涼子代表



野村由美さん(左)、倉橋涼子さん

公の団体が主催する講演会などで、長年に渡り要約筆記ボランティアとして活動されてきた「要約筆記うりぼう篠山」。聴覚に障がいのある方や聞こえに不安がある方に対し、話の内容をその場で要約し、素早く手書きにし、文字にして伝えられています。受賞に倉橋涼子代表と野村由美さんは、「活動が認められ、本当によかったです。今回の受賞をきっかけに、要約筆記が広く知れ渡るきっかけになればうれしいです」とこやかに話されました。

要約筆記に興味・関心のある方はお問い合わせください。 市社会福祉協議会 ☎590-1112

## 兵庫県こうのとり賞

自立の心に根ざし、参画と協働により地域づくりに貢献し、その功績が特に優れた個人に送る賞(平成2年創設)

## ディスカバーささやまグループ 大久保つや子さん

2012年から観光ボランティアガイド「ディスカバーささやまグループ」の一員として活躍されている大久保つや子さん。2011年に大阪から移住された直後、当時の会長からの誘いもあり、ガイドを始められました。これまで、全国各地から丹波篠山を訪れる観光客に「おもてなしの心」で細やかな案内を行い、丹波篠山の魅力を県内外に発信されてきた大久保さん。ほかにも、篠山小学校の児童たちに篠山城跡について学習してガイドを行う「お城ガイド」の指導も長年行われてきました。「自分自身が楽しんで、このまちを案内することをモットーに取り組んできました。今後も、元気な限り、ガイドを続けていきたいです」とこやかに話されました。



このほか、兵庫県くすのき賞において、「下新田自治会」が、丹波青少年本部長賞において、「北村茂(きたむらしげる)」さんが受賞されています。

## 山の芋の植え付け開始 (4月7日)



特産「丹波篠山の芋」の植え付けが市内各地で始まりました。大野地区で約30年間、山の芋を栽培されてきた吉田早苗さんの畑(5a)でも植え付けが行われ、手工具で掘った穴に、有機肥料とともに切った種芋を入れ、土をかぶせていきました。

## 小学校での生活がスタート (4月9日)



4月に入り、市内の小中学校で入学式が行われました。古市小学校(中澤昌樹校長)の入学式では、新入生5人が6年生に手を引かれて入場。担任の先生から名前を呼ばれると、「はい」と大きな声で返事し、これから始まる学校生活に心を躍らせていました。

## ジュニアスキー全国大会出場 (4月6日)



丹南中学校3年生の荒木日向さん(当時)が、2月に行われたJOCジュニアオリンピックカップ2026全日本ジュニアスキー選手権大会に出場。荒木さんは「フィジカルトレーニングに力を入れ、インターハイ出場をめざしたい」と今後の意気込みを語りました。

## 校名を「ささやま支援学校」へ (4月8日)



篠山養護学校の校名が「ささやま支援学校」へ変更され、校名変更記念式典が開催されました。長年親しまれてきた「ささよう」の愛称はそのまま残し、特別支援教育の変化に合わせた、新しい支援のかたちをめざします。

## 子どもたちの安全を守る (3月24日)



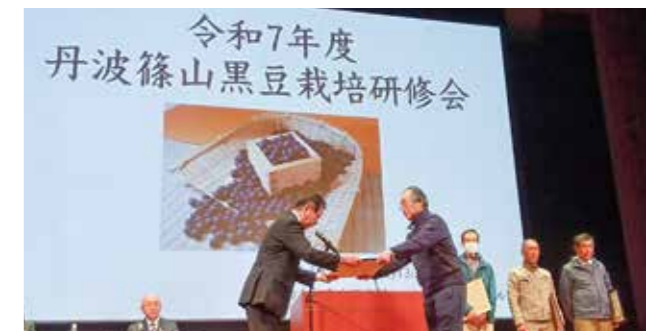
丹波篠山交通安全協会と株式会社小田垣商店から、市内小学校新入学児童にランドセルカバー、市内幼稚園・こども園新入園児に反射ニコニコマークシールが寄贈されました。丹波篠山で育つ子どもたちが安全に健やかに育つようにと、思いが込められています。

## 地域おこし協力隊委嘱状交付式 (4月1日)



地域おこし協力隊の委嘱状交付式が行われ、新たに畑恭子さん(八上地区)、島袋てつさん(雲部地区)、遠藤友啓さん(西紀北地区)が地域おこし協力隊に就任しました。今後はそれぞれの経験を生かし、地域と交流を深めながら活動に取り組まれます。

## 丹波篠山黒豆栽培研修会 (3月24日)



市内の黒大豆生産者などおよそ200人が集まり開催された丹波篠山黒豆栽培研修会。黒大豆共励会の入賞者表彰や黒大豆栽培の事例発表、丹波黒の品質についての講演が行われ、黒大豆の安定生産と品質維持に向けた取り組みを学ぶ機会となりました。

## 新たに2頭をサル追い犬認定 (3月27日)



農作物を荒らすニホンザルを追い払う「モンキードック」に、細川恵美子さんのあずき(桑原)と田村美史さんのムック(高坂)が認定されました。市では、制度が始まってから50頭目の認定となります(うち今回の認定犬2頭を含む13頭が現在活動中)。

## 登山イベント



### 多紀連山山開き

新緑さわやかな5月に、クリンソウの群生地を見ながら丹波篠山最高峰の多紀連山を登りましょう!

と き 5月17日(日) 8:30集合

※雨天中止。

コース 篠山御嶽コース  
 集合場所 多紀連山駐車場(火打岩)

申し込み 右記二次元コードから  
 問い合わせ 多紀連山アルペン協議会事務局(商工観光課) ☎552-6907



## ささやまの森公園 ☎557-0045

### ●コケ玉づくり

と き 5月3日(日・祝)  
 ①10:00~12:00 ②13:00~15:00  
 対象 小学生~ 定員 10人 参加費 500円

### ●春の野草観察

と き 5月10日(日) 13:00~15:00  
 定員 15人 参加費 200円

## 篠山チルドレンミュージアム ☎554-6000

### ●ごんた山でかしわ餅

と き 5月5日(火・祝)、5月6日(水・振)  
 ①11:00~ ②14:00~  
 定員 各回15人 参加費 1,000円

## 丹波並木道中央公園 ☎594-0990



### ●恐竜の立体パズル作り

と き 5月3日(日・祝)  
 ①10:00~ ②11:00~  
 ③13:00~ ④14:00~

定員 各回16人  
 対象 子ども~  
 (小学3年生以下は保護者同伴)

この他にもワーク  
 ショップなどが  
 盛りだくさん!

### ●親子で作ろう! こどもイス

と き 5月5日(火・祝)  
 ①10:00~ ②13:00~  
 定員 各4家族  
 参加費 1,500円

事前予約制



## 青山神社例祭で武者行列 (4月5日)



篠山城跡内にある青山神社で例祭が行われました。小学4年生から6年生までの男女25人が甲冑やはかまに身を包んで歩く「少年武者・少女長刀行列」では、満開の桜の中、青山神社から春日神社までの約1kmの道のりを勇壮に練り歩きました。